

【平成 23 年度・ミクロ経済学 III・課題 4】

☆ A 4 用紙片面のみに解答を書いて下さい。

☆ ☆提出締め切り：H23 年 8 月 2 日講義開始時

【問 1】消費者が、所与の予算を使いきって、X 財と Y 財の 2 財を消費する場合、予算線は

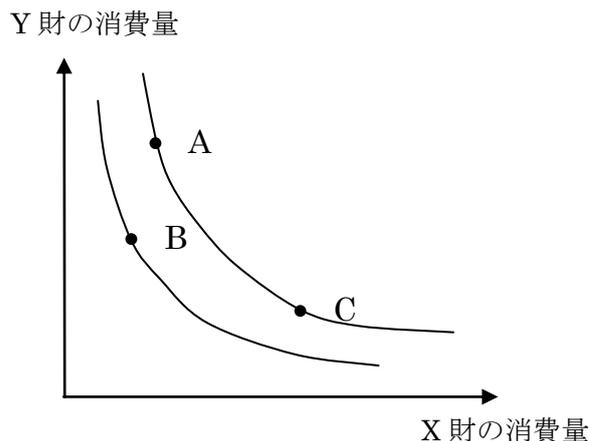
$$M = P_x \cdot X + P_y \cdot Y$$

で与えられる(但し、 M は総予算、 P_x は X 財の価格、 P_y は Y 財の価格、 X は X 財の消費量、 Y は Y 財の消費量を表す)。これを参考に次の場合の予算線のグラフを、同一の平面上に書きなさい。(ヒント：縦軸に Y 、横軸に X を取ること。予算線を Y について解いて、グラフにすること)

- (A) $M=1000$ 円、 $P_x= 200$ 円 $P_y=300$ 円
- (B) $M=1600$ 円、 $P_x= 200$ 円 $P_y=300$ 円
- (C) $M=1000$ 円、 $P_x= 100$ 円 $P_y=300$ 円
- (D) $M=1000$ 円、 $P_x= 500$ 円 $P_y=300$ 円

【問 2】次の図のように無差別曲線が与えられているばあいについて(A)～(D) が正しいか誤っているかを答え、誤っている場合には、文章を正しく直しなさい。

- (A) 点 A と点 C とでは、C の方が効用が高い
- (B) 点 A と点 B においては、効用は等しい
- (C) 点 A では X 財の限界効用の方が Y 財の限界効用よりおおきい
- (D) 点 C と点 B では C の方が効用は小さい。



【問 3】

- (A) 単調性と凸性
- (B) 限界代替率
- (C) 代替財と補完財
- (D) 効用関数と無差別曲線
- (E) 通常財と劣等財
- (F) 所得効果と代替効果(これは解答しなくて結構ですが、期末までには理解してください。)